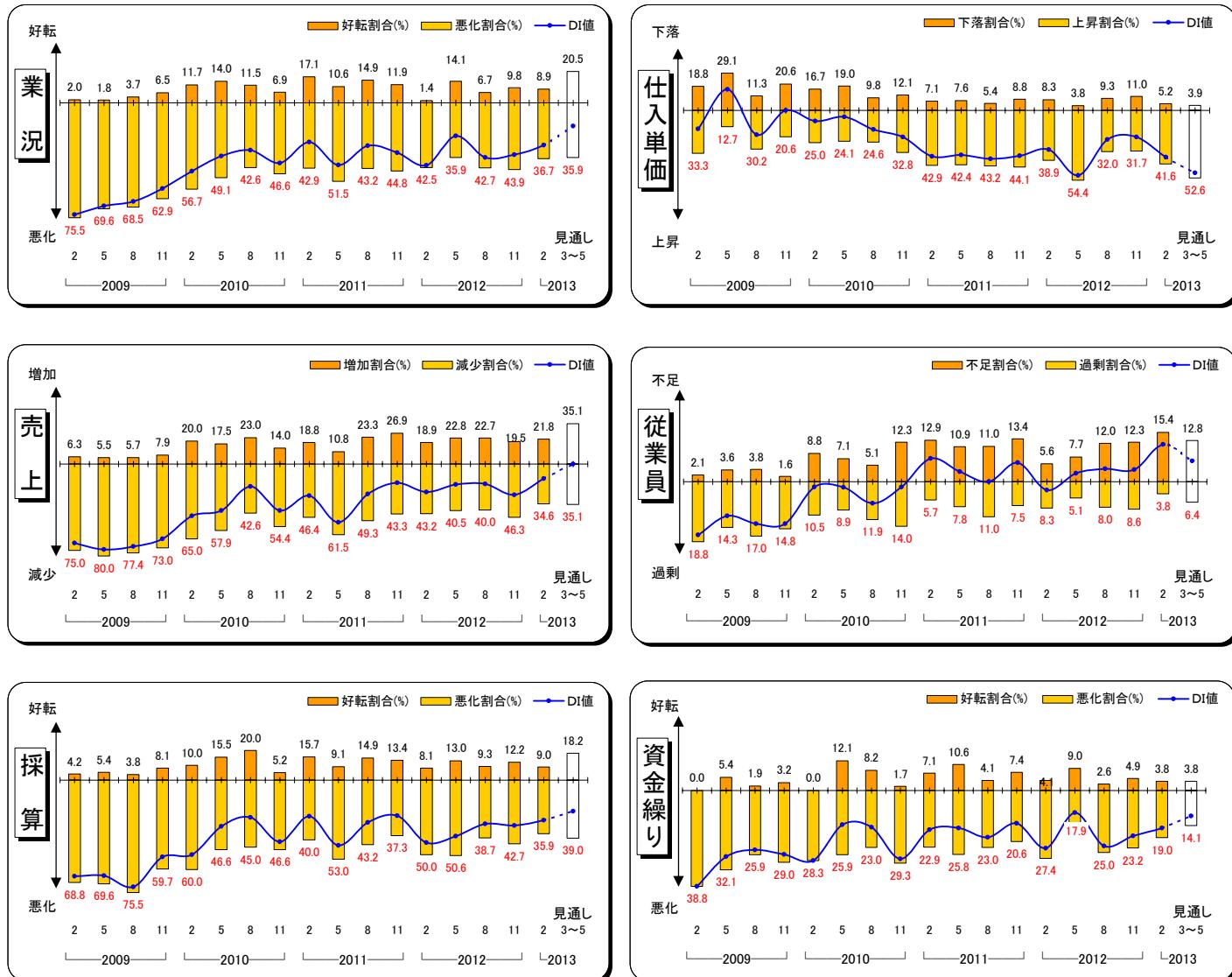


# 【卸売業】①



## 【卸売業】②

### 企業の声（順不同）

産業機械器具卸売業	為替の影響で海外からの仕入値が上がり、ガソリンも日々高騰しているので、販売価格も上げたいところですが、なかなか難しい状況です。
計量器・理化学機械器具・光学機械器具等卸売業	急激な円安による悪影響（仕入単価の急激な上昇）に苦しんでいます。
自動車部分品・附属品卸売業	1月の商いは、積雪の影響もあり少し売上が好転しております。また、車両保険の制度改定（等級据え置き制度の廃止）に伴い、補修用部品の選択に少し変化が出ているように思います。今後この流れがどのように変わって行くのかが、心配であります。
研磨材料卸売業	関心事項：為替動向
古紙卸売業	再生資源物は国際商品であり、海外の市況に大きく左右されております。円安傾向により再生資源物の価格が上昇する一方で、国内においては資源デフレであり、値下げ圧力が強く、問屋が苦しい状況にあります。市況変化が激しいため、業者間の競争が過熱しています。
再生資源卸売業	工業用雑巾（ウエス）の原料となる一般家庭から出る不用となった衣類が、南アジアを中心の中古衣料として高値で取り引きされるようになり、国内のウエス原料が不足し、価格も高騰している。
食料・飲料卸売業	固定客に納めているためあまり業況は変わりませんが、風評被害の影響はあります。干し椎茸、たけのこの缶詰など、お客様に使っていただけないものがあります。
計量器・理化学機械器具・光学機械器具等卸売業	年度末と新年度の公共事業の予算執行により建設業の景気が良くなると、我々のような関連する業種も多少期待を持てそうです。
什器卸売業	建設業の不況脱出を願う。
食料・飲料卸売業	出向として受け入れていた社員（営業課長）の出向を解除し、8月に正社員1名（営業部長）を採用しました。今期は加盟店増による売上高増加を見込んでいます。（前年度と比較し、加盟店数が倍増しています）
飲食料品卸売業	政権が変わり、円安株高に転じたため経済は回復基調というが、消費状況は依然厳しい価格競争の最中にあり、経営は悪化している。当社は数年前から経営者の交代を見据え、多少経営は悪化しても次期経営者の勉強の過程と思い、この悪環境から「いつ」「どの様にして」経営者として立ち上がる術を身に付けるのかを「じっと」見定めている段階。サポートする幹部も、危機感を共有してくれればよい、と念じている。あまり簡単に立ち直っても商売を甘く見てしまうし、そうかといって回復不能な状態にしても、本意ではないと思って見ている。
産業機械器具卸売業	円安の影響により海外からの送金がスムーズになり、売掛金が減少している。
タイヤ等自動車部品卸売業	1～2月にかけての降雪により冬タイヤの需要が増した。1～2月に夏タイヤが不振だった反動で、3～5月は売上、採算が好転すると考えられる。
非鉄金属スクラップ卸売業	円安効果により輸入品の価格が上がり、国内品の需要は出てきている。しかし、長期に亘るデフレ下での価格低迷による影響で回収業者の回収意欲が低下していることに加え、今後のさらなる円安による商品価格の上昇への期待があり、現在のところはそれほど商品が動いていない。今後の為替動向はアメリカ次第であると思うが、現状では期待が先行する形となっている。
建築材料卸売業	売上は好転を見込んでおりますが、円安による燃料費の上昇が懸念材料となっています。